滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減　每張四百文

告示

大日本帝國營口監督與爲出示曉諭事照得貨財爲商業發達爲之資幣制實貿易繁興之具故必法歸畫一乃可通行更須製造無訛始堪信用熟考當埠幣制雜亂紛繁貴賤低昂莫知所向故有愛英洋錢有好人龍錢有擇大邊錢者他若抹銀錦寶小洋錢等製造不同嗜好各異不可名爲流通貨幣又不適爲公認法貨至於軍用手票大軍所用庶民咸悅今南滿洲到處通行當埠亦交易稱便然自平和克復後逐漸收回代以橫濱正金銀行牛莊支店鈔票關東總督告示確有明文橫濱正金銀行所發鈔票其持至該銀行兌換需用者立將品質九成色之銀圓兌換故自今未盡收回之手票與鈔票銀圓皆爲當市之流通貨幣用此等銀錢充兌買賣存欠各賬目實爲公認法貨其他貨幣除合意交易外不爲公認自示之後仰闔埠人等一體遵照勿違特示

右諭通知

明治三十九年二月

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所
橫濱　神戶　東京　長崎　大阪
倫動　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺

電話　十番　支配人室
　　　百八番　事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

賣捌並廣告取次所

連大市穩岐町三百三十八號　**日華運輸公司**
大連市盤城町四十九番地　**岡野新聞鋪**
奉天大南門內景祐宮胡同　**全泰號**
遼陽　遼陽俱樂部　**谷口今朝太郎**

三井洋行

倉庫部

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷着

●精製白砂糖新入荷物あり

今回倉庫所在地（靑堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候（電話百二十八番）

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印幷一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花市東洋緞子洋胰鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸

運輸部　這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店幷牛家屯分此殊以李吉市田彫起等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚

總司理人田中賴之助謹白　電話　東店五五　西店一八三

♣東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷

總司理人葉亮卿謹白

♣東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣糧貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇通知之

正理事澤玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

♣西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞

本主人敬啓

♣仁裕號

係裝運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈

營口西大廟街路北警乙第十三號

♣代代木烟公司

本行專售日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（[illegible]）百合花牌（利利）均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉諸尊欲講可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

♣田中牛莊分莊

啓者本舖開設於營口綏定門外經大阪丸三組精造東洋緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉　賜顧者請光臨本舖面閱是幸

田中牛莊分莊謹啓

飯塚工程局　材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡　中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需國本主人啓

三井洋行經理

明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一核章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議（電話六十六番）

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し是に督促書を差出したるも尙遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし

營口瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗着成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白

營口瀛華實學院

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、
上等石炭

以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也

松茂洋行商業部　河岸通（電話五十二番）

東營口郵便局東隣　●島田洋服店●

新民屯停車場前　●同支店●

M. Iizuka,

Contractor,

Architect and Civil Eginneer.

Plans and specif.cations made to order.

Estimates submitted.

MODERATE RATES.

No. 151 Yuwansinmiao

Ying Kow

失票聲明

啓者本號於本月十四日接省城來電云有阿什河寶泉長在阿由和順昌匯妥長記名下營平銀一千零柒拾兩整係昌字二十八號至營交與本號代取此票托友携營不意行至奉天車站偶逢匪人竟設僞局詐去當即寄電之後本匯主業已來營即至同興宏內廣和順昌該二家自昔頗有相契刻問已將此匯欵如數使出倘有官商拾得此票者即作癈紙特此聲明

二月廿一日恒增通主人啓

營口永世街第一八四號平野町

材木　荒物　販賣

秋田洋行

本店　下關　秋田寅之輔商店

♣聲明假冒

協泰昌興記綠號大有昌洋雜貨號外面並無作保等情近因同字號最多恐有假冒本號圖章特此聲明

本號主人白

營口商業學校招入學生

本學校由客春開學以來肄業諸生頗著成効茲因添建樓宇增設講堂廳需器具種々皆備現擬招入第二次學生

宗旨　造成辦公實業家

學科　修身、漢文、詞章、習字、算術、圖畫、地理、歷史、理化、商律、簿記、理財、商品、商業學、日語、英語、体操

學額　五十名

資格　十五歲以上文理明通者

學費　特免惟寄宿舍生自備饌費餘皆本校墊辦

入學　陰曆三月初一日

夜班　專爲有志向學而白晝忙於謀生者計每晚兩點鐘之功課授以漢文算術商業學日語以一年爲限

○欲覽各檬詳細章程可到本校索閱

上海　中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已歷多年會與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也

中井洋行

●雜貨卸小賣商　附日用食料品
●菓子製造販賣商
●委托販賣業
●土木建築受負業
●流車積運送業

新民府孫家街　**東洋號**

今回弊店に於て明治火災保險株式會社代理店引受候に付き建築物、商品、家具、什器、一切の火災保險精々御便利に取計可申御用被仰付度願上候

三井物產合名會社牛莊支店（電話六十六番）

東清鐵道　裕和盛運輸局

（電話八十一號）　在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟〻代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧

總司理主人周鶴雲　運輸部主任高濱麟太郎　謹啓

電氣諸機械

大販賣

本店　天津日本租界電話二〇〇
支店　營口永世街甲二一五號

三友洋行電機部（電一五四番）

主任　朱牟田寅吉

自煉瓦●瓦製造
並に各種石材販賣

營口青堆子　**加州組**（電話八十六番）

發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）
Subscription … in Advance, Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office. Newchwang.
Telephone No. 29.
料　一長期連續減價面議

…價錢五吊四百文至五吊… 共上車三十餘輛 … 共來七十餘輛 … 至六吊八百
一… 一フールスカツプ全 一中判洋紙全 一半紙 罫紙 百枚 一卷紙 四十枚續 四圓 二圓 二十錢 十四錢
一簞笥 一卓子 一卓子掛 一廚房用戶棚 三十圓以上三十五圓 四圓五十錢以上十三圓五十錢 六圓以上十二圓 七圓五十錢以上十圓
一長火鉢 一箱火鉢 一宜德火鉢 一對 八圓以上十… 二圓以上三圓五十錢 六圓以上九圓

東京電報

●日銀の金利引下　日本銀行にては金融の大勢を察して金利を引下けたり

●領事館增設後報　露國は敦賀に領事館を設置する外新潟及びマウカ(樺太)にも領事館を置くの企てあり

●滿洲博覽會出品人數　滿洲博覽會出品申込者十二日迄に三千名に達し其中東京よりの出品者九十五名あり

●癈兵法案の可決　衆議院に於て廢兵院法案を可決せり

●三九豫算の公布　三十九年度總豫算特別會計豫算等愈々公布せらる　(以上三月十四日發電)

倫敦電報

●半官の佛國攻擊　獨國政府の半機關紙たるクルニシヤ、ツァイツング新聞は佛國か銀行問題に對して強硬なる態度に出てし爲めモロツコ問題の解決を遷延せしめたりとて痛く佛國を攻擊せり

●駐清軍引揚の宣言　獨國政府は四月末を以て清國駐屯軍の全部を引揚け汽船チツカー號にて歸國せしむる旨宣言せり尤も七百名の小部隊は北京及び天津に殘留する筈也

●米國と清國視察員　米國大統領ルースベルト國務卿ルートの兩氏は別々に清國視察委員の一行を接待せりルート氏は同委員に對して語つて曰く清米兩國間に於ける意見の衝突は主として各自か兩國の實情に通せさるより生するものなりと　(以上三月十三日發電)

●佛國內閣の成立　佛國サリアン氏の新內閣は外務大臣ブールジオア大藏大臣ポアンカール教務大臣ブリアン內務大臣クレメンソー等の諸氏より成れり特に注意すへきはクレメンソー氏の入閣なりとす氏は次期の總撰擧を左右するの人なるへし　(三月十四日發電)

雜報

●滿洲視察談(上)　(山脇農商務書記官の談)

▲滿洲に關する悲觀說　近來諸處に於て滿洲の將來に關する悲觀說を耳にしたるも是信するに足らさるか如し即ち彼の氣候の寒冷不順飲料水の不良其他滿洲の汚穢なる事等自然界の諸點に關する悲觀又滿洲の農業は大農的にして獨り支那人に適するのみ未た日本人の能くすへき所にあらすとの悲觀或は商業につきても一般住民の智識低く只支那人の經營に適するのみとの悲觀及び東淸鐵道の如きは軍事上多少の必要あらんなれとも遼河の水源を絶たさる以上は折角經營の見込なしとの悲觀等より大連經營の如き到底營口に對するを得すと何彼につき一々悲觀を抱くもの少なしとせされとも實際につき能く觀察する時は全く之に反對の現象を發見すへし

▲氣候飲料水　先つ第一氣候の如き本邦內地に比して寒冷なるは勿論なりと雖も三寒四暖と云ふ風に規則正しく行はるゝのみならす空氣一般に乾燥して風威肌を刺すの恨みあるを除けは內地に於けるか如く鬱陶敷天氣少きか爲め氣分は生々として活潑に立ち働くに何等の故障なし現に最も寒威烈しき時に於ても零下卅度以下に降ることなく目下郊外步行の際に於てさへ時に汗を出すこと少なからさる有樣なるを以て苦に病む程の寒氣にさらさるへし第二飲料水は一般に飲むに堪へさるへきも是れ多くは十五尺乃至十八尺位の淺井なるか爲め多量の鹽分を含有する次第にて單に上土のみを掘るに基因するを以て一步進んで底深く掘井せんか鹽分少なき淸水を得へきなり故に今後一層鑿井に注意せは飲料水に困難するも更にあるへからす其他滿洲一般の不潔は勿論なりと雖も滿洲全野風勢強く塵芥常に空中を滿しつゝあれは日本內地に於けるか如く淸潔にせんとするも人力の能くすへき事にあらさるなり依て暫く滿洲の地に留まるものは習慣上之に頓着せさるに至るへし現に角に以上の三件は內地に於けるか如く順良ならさるてとは明なれと去りとて一度之に慣たるものは差したる苦痛を感せさるへきか故に單に此等のみを以て直に滿洲の將來を悲觀するものは元より滿洲を見捨つるの外なく之れ未た滿洲の價値を知らさるものと云ふへきなり

▲南北兩滿洲　北滿洲は土地肥沃にして住民少なく且つ富み人參、麻、麥、煙草等を產出するに反し南滿洲は土地一般に瘦せ住民多く富低く高梁豆等を產出するに過ぎず殊に我租借地たる貔子窩普蘭店以南の如きは鹽柞蘆の一部漁業等あるのみにて冬期は滿目荒涼青山を見る能はざるを以て非常なる希望に滿されつゝ滿洲視察に出掛くるもの先づ一驚を喫する次第なり併し南滿洲地方には燃料一般に欠乏するが爲め高梁を栽培して燃料に代へざるべからざる結果他の農業の勃興を妨げしに依り一入荒涼たる不毛の原野の如く思はしむるなり(高梁の秣稈は屋根、壁下敷アンペラ等に用ふ)故に撫順烟臺の採炭を盛にして燃料の供給を十分ならしむる時は南滿洲も從つて他の農業を勃興せしむると決して難きにあらざるなり而して之より步一步北進するに伴ひ概して土地肥沃なれば農業地として將來最も有望なり

▲農業と土地所有權　然るに多くの觀察者は曰く北滿洲に於ける農業は大農仕掛にて日本人の經營に適せざると同時に土地所有權の賣買讓與なきを以て將來の活動期待すべからずと是れ誠に一理ある次第なれど彼の八旗兵の所有に歸する北滿洲の土地は支那政府が八旗兵の開墾を奬勵すると共に八旗兵の維持服從を期せんが爲め特に賣買讓與を禁止したるものなり去れど是れ全く表面上の事に屬して其實八旗兵は何れも皆窃に權利賣買をなし居れるが故に將來日本人の土地所有權獲得の事は毫も困難とすべきものにあらざるなり特に支那人の計畫になる粗雜なる大農仕掛けは專ら牛馬耕に依ると雖も農民不足の爲め植付期間に於ては每年山東省邊より數萬人を雇ひ來る有樣なれば將來日本人の移住を待つや最も切なり加之今後此地方の農業發展につれ麥、阿片、煙草、人參等の小農仕掛を要するものにつきては是非とも我農民の助力を仰がざるべからず左れば現狀に失望することなく大に奮起して滿洲の農業を勃興せしむべきなり見よ南滿洲の支那人も亦今日麥を植る時は高梁を植るよりも二倍以上の收穫あるを知ると雖も單に燃料の不足の爲め現狀維持に餘儀無くせられたるにあらずや故に撫順煙臺の採炭を十分ならしめドシ／＼燃料を南滿洲に供給するを得て北滿洲と同樣に一般農作地に變ずる時は滿洲の農業に依て受くべき利益は獨り我々同胞のみにあらざるなり況んや農產物を以て工業原料となすの曉は滿洲のみに於て邦國多年の利源を開發することゝ決して無きに非あらざるに於てをや

●鐵嶺雜記(一)　朴捻生

別項記載の如く余は遼陽奉天鐵嶺と順次旅行視察したるを以て先づ遼陽より筆を執るか當然なれとも遼陽奉天の情況は屢々報道し加之旅行者も同方面に多く自然事情にも精通せらるゝ人多きを以て今更贅辨を弄するの必要なく殊に鐵嶺の地たるや開放以來或る事情の爲め長く女人禁制の表札の裏に閉ぢ込められ漸く去る十二日より一般自由に解禁せられたる土地柄なれは余は先つ此地の見聞を第一に報道せんとす

▲戶數、口及職業別　如何なる事業を經營するにも第一の着眼點は謂ふ迄もなく其土地の人情風俗及び貧富を察し以て民の生活程度若くは地の偉否如何を知悉せさる可からす就中戶數人口及び職業別の調查を要するは頗る急務なり然れとも淸人の戶數其他職業別を調查するには一朝一夕に出來得る事にあらす土地に知縣あるも彼等は斯くの如き方面に眼を注ぐか如き事は夢想たに無く自己の胸中には金錢以外には何等の考へなき事は此國の習慣なり故に其調查たるや種々の困難を來たし到底吾人か想像の及ぶ所にあらす今鉄嶺軍政署に於て萬難を排し係官の熱心と忍耐とにより調查したる鐵嶺管下の戶數其他を見るに淸人の戶數は總体に於て五万七千六百六十四戶此人口男二十一万九千八百六十七人女十七万二千〇二十五人合計卅九万一千八百〇二人にして是等の職業別は左の如し

官吏(公吏差役を含む)一六二　醫師卅五　巡兵二六五　卜者八　藝人九十五　苦力八五　烟館一二二　儒者一七二　旗兵(八旗)二七　仲買人一三　畵工五　剃頭一一　職人七二九　木賃宿二五　宿屋一五　無職業一九〇　雜業五七　馬商(博勞)一〇　雜貨商九〇〇　質屋六　古着商七　油房一一　炸煤一　藥舖七　棉花商三　首飾舖三　僧侶八　山貨商(綿蘇柳煙片煙の類)一〇　貿易商二五　肉舖四　燒酎製造業三　船舶運漕業五　菓子屋六二　布商七　船匠五　過路店(各地より來侍の旅客馬車等の宿)一〇　平秤行二七　弓匠(綿打弓製造業)五　錫匠四　絲匠三　盆匠五　瓦土器製造五　(革匠)(靴屋を含む)四二　仕立屋一二　機房一五　粉商一八　豆腐舖一四　繩商五　銀匠一一　銅匠六　染匠七　石匠三　木匠三三　香房四　磨坊七　製紙場三　鐵匠一〇　瓦匠八　運送保險業一　爆竹五　毛毯五　穀物問屋三〇　農業二七二　飯館七　茶舖三　棚匠(アンペラ小屋大工)五　呉服商五　草料舖(秣草)三

●過爐銀問題の落着

過爐銀問題に對する日本人側の意見頗る強硬なる者あり放任して將來を待ては遂に其の廢止を唱導するに至るやも料り難く斯くては一大事なりと營口公議會か會員相談の結果過爐銀の決して危險の者に非る事を保證して問題の埋沒を企圖し日本人側か其手は食はぬと保證の言を楯に更に其保證に付て強硬に要求し反對に公議會に突込む所あり公議會も一時答辨に窮し熟考の必要ありと其の塲を外し確答を後日に延したるは昨日記載の通りなるか顧れは公議會は兎に角に營口に於ける一流の紳商を以て成立する者苟も一度口を出したる以上は理由なくして引込む能はさるものあり殊に重大ならさるに非すと雖も日本人側の要求は凡て合理にして危險保證の提言に對する當然の要求也且つ夫れ公議會に於て其儘に引込む如きあらは過爐銀の將來如何に成行くやも豫想す可らす想に此儘に爲すは其面目の上に於ても將た又た過爐銀存續の上に於ても決して策の得たる者に非すと即ち更に數日を經て新に又訪問委員を選定し前日訪問せし日本人側の重なる人々を訪問し過爐銀に付て色々相談するに至りたるは殊勝と謂ふ可けれ其後に於けるる會員の模樣を聞くに初の間は尙は往々にして誠意を欠けるにはあらすやと疑はるゝ節も之無きに非らさりしも會見度を重ぬるに於て公議會も愈々誠意を以て且つ熱心に問題を解決せんとするの狀態を示し日本人側に於ても甚た滿足して胸襟を開きて相談するに及ひたる結果話も自然に進行して遂に一二日の會合に於て双方の意見一致し所謂銀爐條例の成立を見るに至り玆に喧しき過爐銀問題も一段落を告くるに至れりと云ふ銀爐條例は即ち左の如し

第一條、銀爐は必す左記の規定を遵守すへし

第二條、銀爐は公議會を經て監督官廳に左の事項を屆出すへし

(一)資本額　(一)出資者氏名　(一)營業塲所　(一)商號

第三條、過爐銀は每年三、六、九、十二月の四決算期に於て決算し決算後、新規過爐銀の取引には証書を用ひ証とす、外國人との取引には約束手形を用ひ本國人との取引には通帳を用ひ以て貸借關係を明にす

第四條、三、六、九、十二月を以て決算期とし期に先たつ十五日前卯色を酌定し從來の習慣に從ひ現金の必要無き者は卯色を附して利殖の途を得せしめ現金の必要ある者には淸算仕拂を爲し以て融通せしめ、金融の圓滑を圖り商業の隆盛を期せしむへし

第五條、凡そ銀爐は必す公衆の便宜を圖り過爐銀受授の際、他の銀爐發行の過爐銀を振替受入を要すへき塲合には必す例に照し受入記帳を爲すへし若し違反するものあれは日淸實業協會より官憲に具申し業務を停止す

第六條、銀爐には從來保證人なかりしか自今整理後は公議會々員聯合保證を爲し曖昧模糊の間に事を了るを得す

第七條、三六九十二月の決算期に於て、軍票若くは正金銀行鈔票一百圓を過爐銀七十三兩三錢とし貸借を論せす一律淸算し以て銀法を整理す若し決算期日に至りて仕拂はさる者あらは保證人たる公議會は之を引受け所理す公議會は銀爐の財產を賣却し仕拂に充當するの權利を有す

第八條、決算期日に至り銀爐の預り金は規定に從ひ八十三兩三錢に對し軍票或は正金銀行鈔票一百圓を仕拂ふへし

但し小銀貨も亦時價に依り仕拂に充つる事を得るも預金主にして小銀貨を受取る事を肯せされは銀爐は必す軍票又は鈔票を仕拂ふものとす

第九條、銀爐は決算期に至れは諭達を遵奉し各家淸算の後其年に於ける銀炉組合代表者に請ふて官衙に出頭して之を報告す若し諭達に違反する等の事あらは日淸實業協會より官に訴へて糾訊す

以上の銀炉條例は日本人側委員の制定に係る銀炉條例に對し公議會員幷に其他關係の支那人か修正して提出したる者を更に日本人側に於て修正し愈々成立したる者にして其の成立後は一部を軍政署に提出し、一部を實業協會に收め更に一部を公議會に收めたりと云ふ

尙ほ本條例の末尾に記明し所謂銀炉の保證を表したる公議會々員の氏名は左の如し

元茂盛記、東永茂、厚發合、東盛和號、長隆泰記、西義順號、裕發祥、永同慶、天合達記、仁裕、同興宏、興順魁、義泰德

因に本條例を原案たる日本人側の製定に係りたる銀炉條例に比較對照せは其相違一にして足らす更に日を更へて其理由を詳說すへし

●北清在留邦民數　二月末日の調查に依れは北淸在留の我同胞現在數左の如し

地名	戶數	男	女	計
北京	一三四	二九二	二〇六	四九八
天津	三九二	八四一	六〇九	一、四五〇
保定	三三	四六	三四	八〇
塘沽及其附近	三二	四二	五五	九七
山海關	二九	六六	一〇五	一七一
秦王島	一	二	一	三
計	七二一	一、三八九	一、〇〇〇	二、三八九

●營口への初航船　當營口も最早開河の期と爲れるを以て日本郵船會社にては雇船長幸丸を一昨十四日に大阪商船會社にては同しく雇船能登丸を十八日に何れも大阪を出帆神戶門司より芝罘を經て營口に向はしむる筈にて社外船御代丸(兵庫共立組扱汽船)亦去る十二日を以て已に神戶を解纜せりといふ尙淸商側に在ても今明日中には夫れ〴〵大豆及び豆粕積取船を出帆せしむといへは愈〻開河の曉には一時に是等航船の入港を見るへく死せるか如き埠頭遠かに活動を始めんかとなり

●軍票の大札と小札　軍票の大札と小札との間には今日に初めす從來と雖も多少の差額ありたるか近來に至りて其差額一層增加し五十錢札は五圓若くは十圓等の大札に對し百圓に付き實に六十錢の下位に在り尙は十錢札二十錢札等の更に一層の小札に至つては七十錢乃至一圓位迄の差額ありと云ふ斯の如く目下軍票は大札と小札との間に甚た差額あるを以て利益に拔目無き支那人は昨今薄口錢の商品なとは代價を大札にて拂ひ渡すに非らされば賣却せすとなり

●昨今の金融　來る可き過爐銀の決算日は淸曆三月一日即ち今日を去る十日の將來なれは金融は勢ひ逼迫の方也然れとも實際は一般の想像程には非すと云ふ尙は昨今の金利は相手の信用強固なる者に於て年利一割七分位なりと云ふ

●瀬川領事の視察　瀬川領事は遼陽及び奉天地方視察の爲に昨日を以て出張せり往復日數は約一週間の豫定なりと云ふ

●訂正　臨時事件公債募集取扱の記事中應募申込期間の本月二十八日とあるは本月二十日の誤にて尙は正金銀行に申込むには其一日前即ち本月十九日迄ならさる可らさるとの事に付て訂正傍々附記す

●飛脚旅行(上)　朴捻生

十日は日露戰爭の大舞臺たる奉天の會戰此戰爭には我軍の各隊が大抵參加せし最も記臆すべき日なるを以て陸軍にては此日をトし一般に紀念日として休日とし自然我社も祝意を表する爲めに休刊したれば明けの十一日の日曜日と二日續きの休業趣味のない營口に寢轉で居ては面白くもなく古語に云ふ一見百聞に如かずで一飛鐵道便を借つて遼陽奉天鐵嶺邊迄旅行を試みば何か甘ひ物でも落ちて居らぬにも限らず併し獨り出懸けるは心淋しく思ひ引込の木葬隱士を勸誘せし所果してイヤと一言の下に刎附けられ今度は肝癪玉の門を叩いて其意を通じたる所此の兄もイヤとすげなく斷はられエー儘の皮獨り行つてやれと九日の夕方軍政署に至り旅券下附方を副官に願出快諾を得て早速便乘券の下附を受けたれば倉卒行李を收めて牛家屯に驅け付け時計を見れば三十分間計り餘裕あるを幸ひ岸本中尉を訪づれ雜談をなして發車時間を待ち居りたるに最早五分前となりたれば一禮して門を出で滊車に飛込まんとしたる一刹那二本筋の係官切符を見せとの嚴命に他の旅行者とは少々種類が違つて居る事とて肩を怒らして示したる所君は官給車に行けと言はる流石は便乘者の待遇は違つたものだと心中大に喜び官給車は何れの列車なるやと驛員に尋ねたるに滊鑵車の直ぐ次だと敎はれ早速行き見れども官給車らしき車は一向見當らず再び尋ねたる所此車だと謂はれ思はず驚いた余の考にては官給車とあらば少なくとも三等客車よりは餘程立派ならんと思はれしに牛馬を收容する一つの貨車にして無論腰掛は云ふに及ばず莚一枚もなく妙な臭氣を帶び其上燈火もなく中を覗けば軍人軍屬鐵道工夫の連中が三十人計り餅を併べたる如く重なり合ひ之れに乘らねばならぬかと思へば思はず歸りたくなつた併し過ぎ去りし交戰中の事を考ふれば金枝玉葉の貴きあたりの方々も是等の車に乘られた事もあるべしと思ひ再び勇氣を奮ふて飛込んだ其內に滊車は遠慮なく大石橋に趣き十時三十分着車せり

火車

▲上行車時刻表
車站名　開午點分　到午點分
新民屯至溝邦子　上六、〇〇　上九、五七
營口至山海關　上八、二〇　下六、〇〇
山海關至北京　上[illegible]　下[illegible]

▲下行車時刻表
車站名　開午點分　到午點分
北京至山海關　上八、〇〇　下六、二〇
天津至[illegible]　上一一、二〇　下五、四一

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表
大連奉天間　下り列車
驛名　發着時刻
大連　發午前九、〇〇
驛名　發着時刻
遼陽　着午後三、五〇　發四、五五
大石橋　着　一〇、三三　發一一、三五
金州　着翌前二、二〇　發[illegible]
上り列車
旅順　發午後二、〇三
大連　着　五、三三
營口線　下り列車

天氣豫報
營口地方　自三月昨日午後六時　至三月本日午後六時

小説

新作小説　おとし胤（十三）

德田秋聲

行けといふか、止まれといふか。此の時の健三の一言は、實に千斤の重量と、千金の價値がある。光に取ッては、實に西へ行くか、東へ行くか、其の方向を指示する羅針盤！

それで光は、息を凝らして、健三の返事を待ッてゐた。其の屹と結んだ口から何樣な聲が響くか。

健三はまた、平常の快活に似ず、沈思の躰。宛然に一國の大宰相が、國家の一大事でも判斷するやうな構で、腕を組み、瞳を凝らして、何時までも何時までも無言。

餘り返事の手間が取れるので、光は待遠しくて待遠しくて耐らぬ。少し焦心氣味になッて、

「ね、健三、何うすれば可いだらう。お前、自分のこと丶思ッて考へてお呉れな。

「然うですな。」と健三は、辛而口を切ッてそれからまた少時默ッてゐて「一体孃さんの考は何うなんだね。」

「私の考？………」

「然うだ、東京へ行きたいのか、それとも此方にゐたいのか、何方なんだね。」

「あら！」と光は、眼を睜ッて、暫と健三の顔を見た。「それぢや何んにもなりやしないわ。それぢやお祖父さんの有仰るのと同樣ことだわ。お祖父さんも始め然う有仰ッたのよ。」

光は、人といふものは、體が別になると、何故此樣なにも冷淡なものかと思はれた。

「だけど、誰にしたッて、此ういふしか無えさ。孃さんの決心を聞いてからで無くては、何んと謂へるもんか。」

「だッて………だッて………」と光は押へるやうに謂ッて、「私に決心がある位なら、誰も相談しやしないわ。」

「成程決心と謂ッては惡かッた。それぢや、孃さんは、阿父さんが可いのかね、お祖父さんが可いのかね。」

「兩方！」

「兩方？」

「だから困るのよ、何方にすれば可いかと思ッて。」

「それぢや二心だね。」

「二心ッてことは無いけれども、眞箇に何方にすれば可いのか解らないよ、そいで、お前に相談するんだよ。もしお前が、私のやうな場合になッたら、何うして？何方にして？」

「俺かね。」と健三は、また考へた。

「お前だと何方にして？………」

「俺だと………」と謂ッて、何んの故か、熟と光の顔を見て、「俺だと、何んだ。東京へは行かないな。」

「東京へ行かない？………何故。」

と光は、頼の綱の斷れたやうな心地。

「何故ッて、然う謂ッては何んだけれど、孃さんの阿父さんは惡い人だ。」

と思切ッて謂放ッた。

光は、愈〻驚いて了ッた。

「何故〻〻、何故父樣が惡い人なの。」

「だッて、孃さんを今まで放擲ッといて、今となッて、自分の方に入用だから取返さうなんて無理ぢやないか。加之孃さんの阿母さんのことを、田舍に捨て丶置いて、自分獨で東京へ行ッてるなんて、量見の好くないことだ、俺ア何んでも、孃さんの阿父さんを好い人と思はねえ。」

これは至極當然の理である。それで光も默ッて考へてゐたが、

「然うね、何故父樣は、母樣のことを放擲ッてお置きなすッたのか、それは私にも解らないの………

何れ何か事情のあることだらうけれども………

然うね。」とまた考へて、「父樣が惡い方だとすると、私、東京へ行かない方が可いかしら？」

「俺は、行かない方が可いと思ふな。もしも阿父さんが立派な方なら、先生も孃さんと一所に悦んで東京へゐらッしやる譯だ。」

光は、健三に依ッて、決心を固められたやうで無い。更に心を迷はされて了ッた。更に疑を深くさせられて了ッた。彼女は、健三から火を貰はうと思ッて、反ッて水を與へられたのであッた。これでは折角相談對手となッて貰ッた効が無い。

何故といふに、光は、設や何樣な惡い人にもしろ父の顔が見たい、父に逢ひたい！

「あ丶、何うすれば可いだらう。」

彼女は、身を打悶えて考へた。

投書かご

▲第七派遣所管内居住淸國人有志者は今回同所長佐野上等兵が交代するとを聞て軍政署に留任を請願し若し聽許されすは金杯を贈くらんと言つて居るさうぢや近來の美談ではないか（世話燒男）▲永世街の饅湯とやらはホントに穢たないよチャンコロの湯よりも穢たない中湯も半分と爲つて居るし上り湯も水も無いそれに湯室と表の境口に戸が無いので先達も支那人が女湯の方を頻りと覗き込んで居たよチットは改良して貰はんとにや乾度憲兵さんに申付けますよ（尻馬贇六）▲小説おとし胤の光は東京へ行くんでせうかそれともお祖父さんの許を去らぬでせうか去らぬとすれば將來の波瀾とは爲らぬやうだし左ればとて義理ある祖父を振り棄てゝ行く譯にも行くまい畢竟どう爲るであらうかと毎日貴社新聞の配達を今や遲しと待ち受けて其度毎に失望して居るのである二回分も一緒に掲載してもう少し早く進行さして貰ひたい（切望生）

●話の聽きがき ▲近頃過爐銀の問題は大分矢釜敷なつて來たか試に今日在留六千の日本人中、過爐銀を利用して居る店が幾軒あるかを調へて見るに三井洋行、有信洋行、服部洋行の兩三軒に過ぎない更に是等の店は其利用に依りて利益を觀つゝあるかと聞て見るに何れも皆な寧ろ迷惑の旨を以て答て居る即ち過爐銀は日本人に於ては其利用か既に困難なると共に研究して利用しても亦た別に利益の無い事か判然する▲西洋人と過爐銀との關係は如何であるかと云ふのも問題の一つて研究の必要かある聞く所に依れは別に深い關係は無いそふてある即ち西洋人と過爐銀との間に若し關係かありとすれは其關係はコンプラドーから先きの關係てコンプラドーは過爐銀に依つて物品を賣買するかも知れぬか西洋人とコンプラトーの間の勘定には何れの店も一切過爐銀の使用を許して居らぬと云ふ事てある

●頭陀袋 ▲板垣伯は本年を以て古稀の壽を迎へたので松田正久杉田定一等舊自由黨の面々來る十八日を期して一大壽莚を催うすさうぢやが生命を拾つて詰まらぬ事をしたものは此老伯である▲秋田の一代議士加藤外相の辭職を詠じて日くてつてくと知らずに入りしてうめいは智慧を限りに逃げ出しけり▲北米テキサス州に百七歳で本年百十五歲の亭主を殘して死んだ老婆がある其子孫二百五人とは目出度話である▲高知縣伊野町某の妻女は此程男子を分娩したが同家の三毛猫人知れす嬰兒を喰つて了つたので今は市中の大評判と爲つて居る恐ろしい猫もあれはある併し營口あたりには人喰ふ猫は珍しくも何んにも無い（黒坊主）

贈岩城詞契征役詩　岳州　秦灝年

隨得熊羆出亞洲阿儂今幸仰神謀籌書漫說無奇士記否當年漢酇侯

和韻　大石橋　岩城黃雨

仁義師名震五洲神兵嚮處樹奇謀胡軍多是望風去安臥岳城猶頓侯

呈岩城詞契　岳州　秦玠庭

獨威岩君意氣深卓然品望重儒林莫言天下無知巳彼是投懷見赤心

酬秦君　岩城黃雨

天涯爲客歲華深但喜偸閒會雅林畫意詩情春一半相逢俱識古人心

子の日　黃雨

うなゐらか子の日の野邊につどひきて千代うたひつゝ小松曳くなり

不言出戀

逢ひそめてもゆる思ひはます鏡云ひ出てぬ身のくもりかちなる

不逢戀

逢はぬ夜はまかきに君をまつ虫も戀しとはかりなき明すらん

●小氣焰 小さい問題のやうで大きなのは金州丸事件であらう一人の爲めに一國國民の元氣を銷憊せしむるが如き結果を生せば由々しき邦家の一大事である（空砲生）

廣告

公告

電話交換加入者募集

當局電話交換加入希望の者は至急申込可し

追而二月十五日以前に申込みあるも未た架設に至らさるものは重て申込を要す

明治三十九年三月三日

營口軍政署電話局

旅館 富喜樓

室內は極淸潔防寒之設備あり

鐵嶺驛へ滊車到着毎に日本人の案內者出張致し居候

鐵嶺城東門外南へ一丁余

南大街　樓主敬白

一關內外蘆漢鉄道貨物運輸　但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候

一海關手續　但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ

一鈔關手續事務取扱　但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱

一船舶貨物取扱

一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號

大淸通運公司　營口支店

夜警決算報告

一銀二百六十三圓五十錢　二月分徵收高

內譯

一銀百五十圓　公議會エ苦力費支拂

一仝三十圓　新聞廣告料

一仝二十一圓二十錢　領收書用紙、臨時雇員給料、帳簿料、

差引殘金六十二圓三十錢

右及報告候也

第一派遣所　夜警委員

船舶輸出入荷物取扱　荷物保管

税關手續

市場北三階樓時計店ノ二階

宮原公司

御旅館 豐陽館　上海（電話一〇六番）

日本郵船會社荷客取扱

歐米滊船乘船取扱

館主米田藤吉

弊店儀從來平野町に於て左の營業致し居候處此度商業擴張の爲左の所へ移轉仕候間倍舊御引立の程奉願上候

豊濟門街李俊の前

ペンキ塗請負　京阪組

千客万來

老舗　營口菊水

故沖禎介 追悼の爲め江湖諸賢より玉はりたる詩歌書畫を編集上梓して一の紀念帖と爲し度き旨同存父沖莊藏氏より通知有之候就ては其紙數を一葉にても多からしめ以て存亡父子共の光榮を大ならしめ度くと存候間廣く江湖の同情を得度廣告候也

一、刻版は四月中に取かゝる事と存候

一、紙判は美濃紙大

一、沖莊藏在沖繩縣那覇地方裁判所官舍

一、御問合の件あらは左に

新民府奈良崎八郎　營口瀛華學院上野政則　大淸通運公司安田貞藏

同志友人　敬白

鐵嶺西門外大通

御旅館 福屋 御料理

北京東單牌樓大街路西

扶桑旅館

客室淸潔料理鮮新

天津 御旅館

駐屯軍御用 並西洋料理

芙蓉館

會席料理 三日月

營口警務課前南に入る

奉天日本旅館

瀋陽館

家屋宏壯淸潔

接待優遇懇切

開放仝時一閲業

奉天小西門外ナ街路北

營口

本店 彌生　電話四一番

支店 彌生　鐵嶺西門外大街

今回新に鐵嶺支店を設け旅館及會席御料理營業仕候間本店同樣御引立之程奉願上候

館主宮下只七郎

一位置　西門より西の方五六軒北側に候

一構造　室內裝飾等日本式　特別室あり凡て營口本店の設備に比し優るとも劣るとなし

一待遇　は親切と叮嚀を旨とし調理萬端十分注意仕候

御手輕料理

一釜飯御一人前　銀五十錢

一湯豆腐一鍋壺　銀二十五錢

一突出しの外は御注文なければ差上不申候

月　日

營口元神廟街二〇九號

翁亭

○フレノロジー
○西洋揣骨相術　運命窮通歷々指陳如神矣
○人々の頭腦を觀測して身の上はんだんをなす
○觀測料隨意
營口豐清門街第四十四號李俊氏宅の西半丁
利生堂

諸鐵工製作
鑛山機械鐵工
船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口綏定門街ブッシ商會東
川喜鐵工場

雜貨　醬油　木炭
すし米　清酒　大樽　牛樽
營口西北街
阪神組

森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す(取扱主任産婆文雄しげ子)
院主　森 [illegible]
醫長　鈴木昌平
營口永世街(電話一五五番)

獵銃彈新荷着
第八、第十、第十二號獵銃彈新荷到着廉價にて販賣致候間多少に拘はらず御注文被下度候
但貸賣一切御斷申候
ブッシ商會

CARTRIDGES.

We have just received a large assortment of Sporting Cartridges for 8, 10 & 12 bore Guns which we are prepared to supply at moderate prices, cash with order.

Apply to,
BUSH BROS.

Yano & Co.
矢野洋行
電話一三七　Telephone No. 137
諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々
今回新荷着致候間直段ヲ極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候
謹言

本家　日本東京神田鍛冶町　堀内大藥房
淺田飴(あさだあめ)
肺病痰喘氣急傷風痰嗽小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥
有名賣藥醫藥醫科器械卸小賣
永世街　東瀛大藥房
房主　藥劑師中馬龍造

石材、碎石
並に自家製造
瓦、煉瓦
廉價販賣
營口元神廟街四十號第二號
順吉洋行

醇良自釀清酒

札幌ビール
朝日ビール
口付莨大和
醬油瓶詰樽詰
酢
菓子色々
鑵詰
洋酒類
右取次販賣
牛莊港東營口
宅合名會社
營口支店

ゼム口中香藥
財菜者芳香馥郁而美味可愛靈約也
ゼムハ著大ナル効能ト愛スベキ美味馥郁タル香氣ヲ有スル良劑
大日本東京　山崎愛國堂　大藥房處修
大清國發賣處
淺野大藥房
營口永世街(二本町)
各國有名靈藥總發賣處

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿州一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

西海洋服店
歐米各國最新流行形
永世街一四一(森病院三軒目)
(電話百二十七號)

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館　東京樓
店主　熊田兼次郎(電話百七十八番)
即席和洋料理　東京樓支店(電話四十四番)
西洋料理仕出し御需に應ず

我々共感あり自今禁酒仕候
戸水汪
安齋源一郎

電話開通(一九二)
雜貨綿布商
糸平公司
營口元神廟街憲一六九

工
飯塚工程局材料部
營口元神廟前
(電話百三十五番)
弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

大日本帝國醫料大學模範藥局御用
攝津灘石崎合資會社釀造
醇良清酒
澤之鶴
滿洲特約大販賣
周
裕和盛號支店
清國營口西北街
電話八十一番
大連湖北彩票每日賣出
東清鐵道裕和盛運輸局
○酒保用品雜貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種
○本店日本長崎梅香崎
○支店清國、芝罘、旅順、鐵嶺、
○支店韓國京城、仁川、木浦、
澤之鶴は既に評定ある天美祿!
裕和盛は清商中日本通の張本!

旅人宿
東館
大連市信濃町卅九號地
特別ト親切ヲ旨トシ且ツ廉價ニ御取扱可申候

宮門抄

十七日
刑部　都察院　大理寺　廂紅旗值日內務府引　見三十七名　王中堂等同鄉官謝　恩　全興潤昌陳伯陶以道府用謝　恩　江南總兵鄭國俊到京請　安
掌儀司奏二十日祭
奉先殿戴撿行禮
召見軍機　鄭國俊
都察院遞封奏一件
十八日
工部　鴻臚寺　正藍旗值日無引　見　敬中堂英慈因伊子以五品京堂用謝　恩　墨麒因伊弟以五品京堂用謝　恩　翁斌孫等以道府用謝　恩　錫嘏謝以四五品京堂用　恩　錢能訓裕厚謝授缺　恩
召見軍機　錢能訓

上諭恭錄

十七日奉
上諭都察院代奏中書崔師范等呈稱已故大員功德在民請宣付史館立傳等情一摺已故廣西布政使游智開歷官直隸安徽四川廣東廣西等省清操卓著遺愛在民着准其將生平事蹟宣付國史館立傳並入祀各該省名宦祠以順輿情而勸廉吏欽此
上諭此次內務府三院等處京察一等覆帶引見各員內除榮銓莊達誠璋鍾福延齡文蔭德清廣群文億濟良毋庸記名外莊健繼銘都慶恒啓錫麟彬格延曾文紳宗芳棫興慶桂金聲文淇松山多浚曾煦慶寬崇康福啓文鑑繼綱恩奎聯榮庚年恒敬保桂明誠均着交軍機處記名以關差道府用欽此
旨巡警部左參議着御史錢能訓補授右參議著候選道裕厚補授欽此

奏議

盛京將軍趙奏奉省籌辦鄉鎮巡警摺
奏爲籌辦奉省鄉鎮巡警情形恭摺仰祈
聖鑒事竊查奉天從前通飭各州縣舉辦鄉鎮巡警按地畝抽捐係因賊匪充斥急籌保衛之意奴才到任後當查鄉鎮巡警辦法雖有初基而流弊日見滋長控告之案無日無之其故由於巡費出自按地抽捐地方官委之民捐民辦不曾選擇正人亦未申明約束致猾而貪虎而冠者群起把持捐則額外多收餉則任意扣發甚至私設公堂詐財斃命利未見而害已形地方公正紳民相率袖手不敢出而任事且通計所收地捐加於正供數倍縱使取濟一時亦斷難持久奴才查悉其弊特委奏調分省補用道陳希賢專辦省城鄉鎮巡警先從承德興仁兩縣入手仿照直隸督臣袁世凱奏定章程參以奉天情形妥籌辦法經該道徧歷四鄉苦口開導經營數月具有條理城內設總局一四鄉設分局五又分局爲四十二區每區各練馬巡二十名益以巡弁巡長號手護兵之屬統計五路弁兵約近十人人皆土著不許馬賊濫充局任委員區任紳董該紳董之經收捐款者不得問發餉之事發放餉款者不得問收捐之事以委員監視其間但可接收轉交凡巡費一切收發委員又無從干預權限分明弊混自除仍用向來按地籌捐辦法以地方本有之款酌充巡警餉項其總分局員弁薪用按照北洋定章由官發給以清界限已飭財政總局按月撥發不染民捐絲毫開辦以來凡劣紳之尤著者拿辦之控案之牽累者清理之浮收爲之減免欠餉爲之補發裁撤步巡各歸各屯互相守衛專設馬巡以多數聚於五分局少數四出周巡無事則操練有事則救應辦理數月控告已無疊破巨案似已實覩成效十月間日軍因和定撤兵騷退十餘萬衆各分局委紳董預爲料理王咨相安亦足見布置妥善之一端且從前抽捐多而猶不足今則抽捐少而有餘並能以其餘資購置鎗械又推廣各鄉師範體操各學堂師範爲普設學堂之基體操爲徵兵之基紳董得人即爲鄉官自治之本民闇知其有益倍形踴躍現已委員分赴遼陽等處照此推廣務期全省一致此奴才剔除從前積弊及預圖後來擴充之各情形也至維持善政要非信賞必罰無以運操縱之權該鄉鎮巡警紳民辦理不善者既已嚴懲則經營有効者亦宜酌奬由奴才察看嗣後辦理鄉鎮巡警無論官紳商民著有成績者隨時奏明懇按照異常尋常給奬以資鼓勵其官委員弁薪餉應請作正開銷奴才仍當督飭該印委等實力奉行變通盡利以仰副　朝廷保衛閭閻振興庶政之意所有籌辦鄉鎮巡警緣由理合恭摺具陳伏乞
皇太后　皇上聖鑒謹　奏

東京電報

●日本皇后閱大操　此次日本凱旋陸軍大操於青山之時　皇后亦與　日皇同駕親閱大操云

●俄欲添設領事署　俄國領事署之在日本者共四處而自日俄戰爭以來兩國商務益形緊要因之俄國有添設領事署於新瀉麻烏哥敦賀等處之意云

●滿洲賽會之出貨人員　自滿洲賽會之議既決以來日本商民爭先出貨刻下計出貨人員已及三千名之多其中東京紳商之出貨者計九十五名云

●駐俄日公使身受歡迎　聞此次駐俄日公使本野君蒞任俄都入其國境俄國政府特預備專車以迎之大表歡迎之意云

●英皇藩再晉京　日前英國皇藩孔洛多親王西下遊歷九州刻再晉京西園寺首相招請親王於三十一俱樂部特張盛讌云

●日本派遣軍艦　中國排外情形頗形危迫因之各國派遣艦隊於南清海上今日本又欲保護其在留人民特派遣高千穗艦云

●日本外相之後任　駐英日大使林君不日回國據傳說云林大使回國之後係陞任外部大臣云

●允准黑龍江鐵路之建設　日前黑龍江將軍程雪帥電請建設呼蘭城齊齊哈爾愛琿等處鐵路刻下廷議允其所請云

（以上西三月十四日發電）

中外要聞

●擬造兵營　練兵處派員前往德勝門外仰山窪地方履勘丈量修蓋兵營名曰北苑以備駐紮常備軍之所昨委員稟稱地勢合宜不日即興工修建矣

●斟酌保教章程　聞外部消息現在斟酌保教條規一切審判章程本部辦理交涉紛繁一時不能就緒擬請前任伍侍郎會同議訂以期咸歸妥善又擬各省辦理教務員仍奏請由京簡放云云

●伊犁要電　近於外部得一秘秘消息日昨伊犁將軍來電略謂該地試辦開荒俄國領事照稱此地應在中俄議約條內俟定議後再與貴將軍核議此時暫請停止等語爲此特電大部電示伊地果否開載中俄約內如無其事免致外人阻撓云

●刊行韓國珍籍　韓國古來被中國之風化文學隆盛刊行之圖書汗牛充棟但近時因國勢淩夷教化掃地以致古典珍籍散逸而不見者甚多即有收藏之家而其書價昂貴不易購辦現由旅居京城之日本紳士創設韓國珍書刊行會推幣原文學博士爲總理擬蒐集珍籍以鉛字翻刊行世已發傳單招募四方同好之士該會事務處亦已設有京城學堂內以該處辦會務一切云

●俄將感嘆日本之親情　俄國陸軍中將達尼洛夫君爲領俄俘委員長駐日本東京數月辦理其任務竣事遂以陽二月杪將上回國之程日前因日本陸軍大臣寺內君函請達中將及其屬員并法國大使亞爾滿君等開催別宴當日達中將極口贊嘆日本官憲之對付俄俘公正仁慈克盡保護之道毫不存敵視之意見并言日本於交鋒之時對于敵兵尚如此之友愛則其平昔對待友邦之人士其如何親密之意吾殆不能測之云云

●川漢路工近聞　四川總督錫良昨咨商部云川漢鐵路現已分三段修築並附粘路圖一紙計圖中第一段係由成都修至重慶第二段係由重慶修至萬縣第三段由萬縣修至宜昌現在第一段業已動工一半惟第二第三兩段中山嶺甚多故工程較第一段加至數倍云

●英使論中國鴉片專賣法　聞英公使曾告外部曰鴉片專賣之事恐中國一時未易舉辦蓋中國地方廣大非似香港臺灣之一島岸耳若驟行之於中國恐不免有流弊云云

●平糶之辦法　鄂垣自入正以來風雪交加白米每升漲至六十文左右當道特飭豐備倉將積穀碾米平糶發交各善堂出售每升取錢卌文每人只准五升每日以售盡五十石爲度

雜報

●行人被劫　有錦州來人云前數日有由關裡來四拾餘人行至田庄台北十餘里沙港子遇馬賊四人皆執洋鎗大聲喝曰站住身帶財物速爲留下行人無法有帶路費三元二元者有帶衣物者盡皆搶去云云

●大車誤觸行人　有一拉炭之大車行至天合益門西首誤將李姓經紀之面皮觸破血流不止當與車戶爭論車戶云素無讐恨爲望恕恕李即抱無妄之災而去云

●小貿易人遇劫　昨有蓋州挑韭菜者二人同伴至營南五里橋子遇棒子手三人手執軍器攔住去路遍搜一人之身只得洋八角噫所得僅此而甘受搶劫之名置身家性命於不顧何民風之强梗一至於此耶

●商場調查　安出地載元豆價銀七兩五錢共妥一千石行市不快現無買主又妥出坦載青豆價銀七兩二錢共妥一千五百石行市亦不快

NEWCHWANG, FRIDAY, MARCH 16, 1906.

THE RUSSO-CHINESE CONFERENCE. (PART VIII.)

The awakening China feels a long list of national needs. The first to be enumerated among what wait for the application of modern methods are (I) the construction of a net-work of railways, (II) the development of mineral mines and other natural resources, (III) the enlightenment of the ignorant, superstitious masses by education, (IV) the re-organization of efficient army and navy, and far above all these matters (V) *the animation of the Chinese with the true, loyal love of their country, through the fulfilment by the Government towards the people of all duties and obligations of the parents to the children.*

All the five are mutually inter-related very closely. But the one point that we emphasize most strongly upon is that (V) stands in the foremost in vital importance, and the other four and in fact every reform must needs be formulated and prosecuted with this over ruling central aim in constant view. Otherwise, China may acquire in time all the outward appearances of a strong civilized nation, but the foundation and joints of the magnificent national structure being fatally insecure in the extreme, it may come down to a general crash of itself at any moment, much less, cannot be hoped to withstand a test of exterior pressure.

We entertain the grave fear that *this very point has not yet received at the hands of the ruling classes the greatest attention it deserves*, and urge that, in case our fear is more or less confirmed, the grossest neglect will be immediately and thoroughly rectified in practice.

Quoting an old Chinese general who distinguished himself in the suppression of the Taiping Rebels and other revolts, from the issue of our esteemed Tientsin contemporary the "Peking and Tientsin Times" "the glory has departed from China now and, she has'nt a patriot left. The old men are worth their salt but the new generation are hirelings. With just a veneer of reform and patriotism, they seek only to line their pockets and there is not a single official left who is worthy of the nation's trust."

While making ample allowances for the exaggeration in this wholesale condemnation of the Chinese officialdom, of an extreme pessimist carried away by the despairing outlook of his dear country, we cannot deny that every word uttered rings with the sincere candour of a rugged veteran patriot, nor can we help agreeing with him in a general way, reserving of course the precious exceptions of all too small a minority, to whose serious consideration this appeal of ours is directed.

The wind has changed into the milder south since early yesterday morning and loosened the ice of the River below the West Customs, setting the floes adrift on the tide. In a few days' time, a general break-up is thought to take place, bringing about the clearing of the port from the ice by about the 26th. inst. However, with the "Sankomaru" disaster of a year ago fresh in the memory, there are good reasons to believe that no vessels will be allowed to come in this year, before the port has been formally declared "open."

Yesterday about noon, a Chinese riding a pony had ventured out on the ice as far as nearly midway, just above the Butterfield and Swire compound, when the ice gave way under their weight and both rider and pony fell into the water. Some onlookers ashore who had been watching this foolhardy feat hastening to their rescue could easily fish the man out none the worse for the plunge, but the following great ado to lift the drowning animal by means of long ropes tied round its legs and tugged at in the opposite directions proved fruitless.

An inconsiderable rise of ¼ sen was noticed in the exchange rates yesterday.

EXCHANGE QUOTATIONS.—(Mar. 15. 1906).

JAPAN	Bank T.T.	97¾	LONDON	Bank T.T.	1/11 13/16
	" Dem'd	98		" De'd	1/11⅞
	P'ate 15 d/s.	98¾		Cr. 4 m/s.	2/-½
SHANGHAI	Bank T.T.	71	AMERICA	Bank T.T.	48¼
	" Dem'd	71¼		" Dem'd	48½
	P'ate 15 d/s.	72¼		Cr. 4 m/s.	50
TIENTSIN	Bank T.T.	102¼		Bar silver - - -	29 3/16
	" Dem'd	102			
	P'ate 10d/s.	101			

豫報　南又西の風晴れ
昨日の氣溫　最高溫度四十二度六　最低溫度二十三度七
昨年との比　高十一度九　低十二度〇

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號
旅館 第二營口ホテル 河岸通り
料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛
料理 入船亭 永世街百八十三號 谷 初次郎
旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉
料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎
旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程
料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住普藏
料理 沖の島 永世街百六十五號 店主 中川彌三郎
料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好
旅館 高砂ホテル 料理 高砂亭 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）
旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 麻田久二
旅館 大和館 永世街十一號 店主 前田九一郎
料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一
料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助
料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松
東京 生蕎麥 一式 東庵 元神廟（電話百五十九）
旅館 金城ホテル 永世街百六十六號 料理 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎
料理 醉花園 旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街
旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎
營口軍政署 御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎
さるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角
御料理 柳亭 叮嚀專一 豊濟門街二三 店主 玉岡益人
御料理 一力 並ニ溫泉 毎日新湯 營口永世街 店主 堀 万助
和洋料理 本店 松月亭 營口元神廟街一四三号
和洋料理 御旅館 支店 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 營口ホテル支店 主任 井上源吉
御料理會席 菊水館 主任 朝枝園捷
旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉
旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基
御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟
御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎
旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉
遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎
會席 玉家
御料理 主任 西野治三郎
御料理會席 來々亭 主任 石田清

奉天旅館料理屋案内

旅館 奉天館 奉天城内鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館
和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街
商人御定宿 瑞豊館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話　號）
旅館 天神館 奉天小西關大街北側 館主 荒川一松
旅館料理店 日の出樓 奉天小西門通（元紅葉館跡）（電話七號）
旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話　號）
料理店 梅松館 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎
旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

撫順炭大販賣
多少に不拘御用命被仰付度願上候
金城館販賣部

特別室落成
營口金城ホテル旅館部

藝妓仲居 新來
金城館料理部

奉天小西門外
會席御料理 高等御旅館
金城館

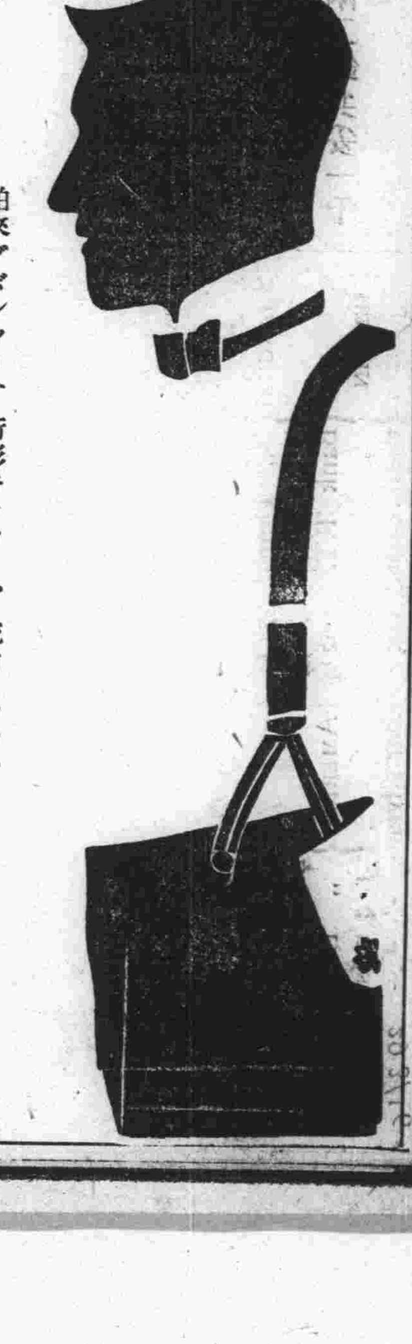
料理 滿月 平の町（電…）
滿月支店 平の町（元都樓跡）
店主 吉木勝意

和洋 會席御料理
一 弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二 奉天支店も本店同様に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町 日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町 日本館支店（電話十九番）
各位様

●本日午后六時ヨリ二本町松榮座ニ於テ
●活動大寫眞
●日俄戰況幷ニ餘興元錄踊等種々

電話開通 百九十番
大日本大阪谷回春堂大藥房 滿洲總售處
營口永世街警務課司法部前
三木洋行
回天堂大藥房

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ぶも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也
營口旅館料理屋同業組合



新着！
舶來ヅボンツリ、新形ネクタイ、流行リボン、
雛人形 東京市松、はこせこ、鏡入、
莨入、蒔繪莨入、手文庫、金庫、支那鞄、柳行李、
元祿模樣、絹首巻、ハンカチーフ、花簪、
鶴香水、ばら白粉、櫛、刷毛、理髪道具類、
春模様新柄友染、双子縞、銘仙、裏地品々、
營口 加藤洋行（電話八十番）

發賣 料木 標子 木板
塩川商會
清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉（電話一三六番）
遼陽小西門内 鹽川商會

●建築用材北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
外に電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 一石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭
○亞鉛板 ○洋釘
○干擄魚 ○石灰
御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也
喜久洋行
永世街八十號（電話百五十二番）

大連 東洋ホテル
大連鐵道停　場附近民政署前兒玉町

標子 木板 料木 發賣
營口青堆子
清水亭木局

爲替相場（三月十三日）
日本向 九十七圓七十五錢（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩四分ノ一（同）
天津向 一百〇二圓（百弗に付）
芝罘向 天津向に仝
由 五 行 情（舊暦二月初九日）

日本品最近物價表
紙類 加藤洋行
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 仝 七圓五十錢
一仙花紙 一帖（六十枚） 六十錢
一塵紙 一〆 一圓七十錢
一状袋 仝 二十枚續 三錢二厘以上四錢
百枚 十三錢以上十八錢
室内裝飾品及寢具 矢野洋行
一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン 十帖 六圓五十錢以上三十五圓
一[illegible] 五圓五十錢以上十四圓
一疊 二圓六十錢以上三圓
一薄緣 十枚 八圓
一麻緣通 一疊敷 三圓
一綿緣通 仝 三圓五十錢
一由加多緣 仝 一圓七十錢
一白毛布 二枚敷 [illegible]

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.
[illegible] per 6 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙
廣告 二十一字詰一行一回 銀二十仙